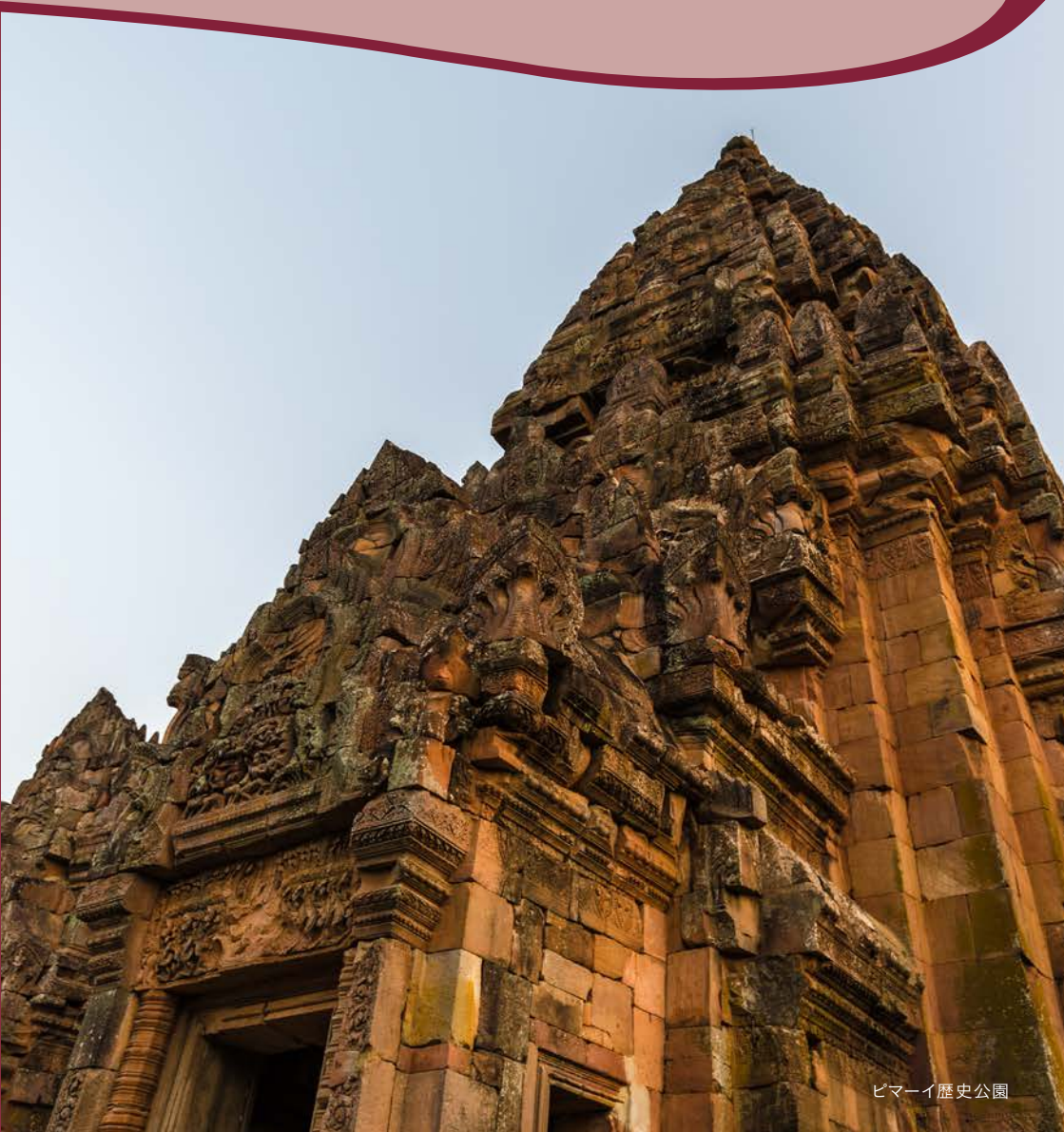





タイ東北部 (イサーン)

Northeastern (I-san)





大いなるメコンの流れ、 悠久の時を見つめてきた遺跡。

NORTHEAST THAILAND

タイ東北部はこんなところ

なだらかな高原地帯が広がる東北部は、北はメコン川を境にラオス、南から東はカンボジアと国境を境にし、20県もの県が集中する広大なエリアで、国土の約3分の1を占めます。タイ東北部全体は「イサーン」と呼ばれ、見渡す限りの大平原と、田園風景が広がるのどかなエリアです。新石器時代に始まりクメール人に支配される時期まで、古代文明の中心だったと言われるこの地には数々の遺跡やモニュメントが残り、その名の通り古代の栄華を今に伝えています。悠久の時を刻んできた遺跡群のほかにも、肥沃なメコン川流域で栄え発展を遂げたシルクや陶芸などの伝統工芸、賑やかで楽しいフェスティバルの数々、そして現地で出会う人々の笑顔にタイの原風景を見つけることができるでしょう。

ACCESS

アクセス

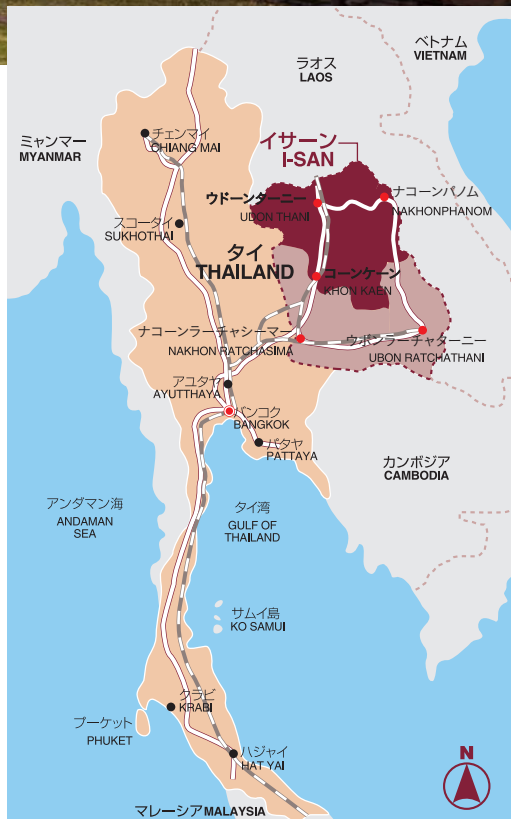
広大な東北地方は地域によって特色も異なり、旅をする際もさまざまな手段が考えられます。バンコクからの拠点は南部では、ナコーンラーチャシーマー、ウボンラーチャターニー、北部はウドンターニーなどです。南部方面には、ピマーイ遺跡を始めとして古代クメール遺跡が点在しており、一方、北部の国境地帯からメコン川にかかる橋を渡り、ラオス・ピエンチャンを訪れることもできます。バンコクから各都市へ入り、あとは目的に応じて、飛行機や鉄道、長距離バスを利用することになります。人の温かさや、のどかな風景に触れながら、ゆったりとタイ東北部、イサーンの旅をお楽しみください。



ビマイ歴史公園

交通手段の詳細は以下ウェブサイトをご覧ください。

- ・ 鉄道 ——— www.thairailways.com/ (英語)
- ・ バス ——— www.transport.co.th/ (タイ語)
- ・ タイ国際航空 — www.thaiairways.com/ (英語)
- ・ ノックエア — www.nokair.com (英語)
- ・ エアアジア — www.airasia.com (英語)
- ・ PBエア — www.pbair.com/ (英語)



民族文化と伝統のるつぼ

-北イサーンの魅力-

広大な大地を有する北イサーンは、経済や教育の中心地となるコーンケン県をはじめ、先史時代の遺跡が発掘されたウドンターニー県、ラオスのビエンチャンを結ぶタイ・ラオス友好橋で有名なノンカーイ県、1億3千年前に生息していたといわれる恐竜の化石が発掘されたカラシン県などがあります。また、メコン川沿いに発展したエリアでは様々な民族文化と伝統が入りまじり、なかでもラオス文化の強い影響を受けています。



P.13	ウドンターニー県	P.16	ノンカーイ県	P.19	コーンケン県
P.14	カラシン県	P.17	ナコンパノム県	P.19	サコンナコン県
P.15	ローイエット県	P.17	ノンブアランプー県	P.20	マハーサーラカム県
P.15	ブンカーン県	P.18	ルーイ県	P.20	ムクダハーン県

概要	P.1-2
南イサーンの魅力	P.3
北イサーンの魅力	P.4
南イサーン	P.5-12
北イサーン	P.12-20
フード・お土産	P.21
イベントカレンダー	P.22
歴史	P.23-24
基本情報	P.25-26
MAP	巻末



南イサーン

ナコンラーチャシーマー県 (コラート)

Nakhon Ratchasima

バンコクから — 259 km

🚗 バスで — 約4時間

🚗 車で — 約3時間半

🚆 鉄道で — 約5時間



ピマイ歴史公園

Prasat Hin Phimai Historical Park

国内最大規模のクメール遺跡が残る町、ピマイ。この遺跡を、いつ誰が何の目的で建設したのかは諸説ありますが、アンコールワットのモデルになったという点で異論はなく、市街地の中に貴重な史跡公園として整備されています。南向きに建てられていますが、その昔クメール帝国の首都アンコールへと通じていたとされる旧道が今も顕在していることから、ここがクメールの宗教的・行政的名中心地であったことがわかります。回廊には4つの門があり、神殿内の中心部にある室内にはクメール風の顔立ちをした仏陀やヒンドゥー教の神々の姿が生き生きと彫り込まれています。

●オープン: 7:00 ~ 18:00 (毎日) ●入場料: 100B



カオヤイ国立公園

Khao Yai National Park

世界自然遺産・カオヤイ国立公園はその85%が森林に覆われ約95種の樹木から成ります。公園内の約40kmのハイキング道では様々な植物相、動物相を観察しながら散策ができます。伸びゆく蔓植物や種類豊かな蘭、膨大な数のイチジクの樹、藤、ヤシ、野生ショウガなどが織りなす美しい眺望のほか、多様な動物相が見られ、野生のゾウやトラ、その他絶滅の危機に瀕した哺乳動物が生息するタイ国内でも数少ない地区のひとつです。サイショウの仲間やズアカキネバドリなど美しく希少な野鳥が生息し有数のバードウォッチング・スポットとしても人気です。

●オープン: 6:00 ~ 18:00 (毎日)

●入場料: 大人500B、子ども200B



チョコチャイファーム

Chokchai Farm

ナコンラーチャシーマーから西へ約100km。ミタラパップ・ロード(ハイウェイ2号線)のサラブリ・ナコンラーチャシーマー・セクションの159km地点あたりにある酪農場。子供から大人まで、乗馬、搾乳、アニマルショーなどが体験できるファームです。場内にはキャンプ場のほか、ステーキやハンバーガー、フレッシュミルクのソフトクリームなどの飲食店も充実しています。さらにオリジナルのお土産グッズ、ジュースやお菓子、ワインなど特産物販売コーナーでお買い物も楽しめます。

●オープン

火~金 1日2回10:00 / 14:00 土日祝 10:00 ~ 11:40 / 13:00 ~ 14:40

●入場料: 大人300B、子ども150B

www.farmchokchai.com/en/index

パクトンチャイ・シルク村

Pak Thong Chai Silk Village



パクトンチャイは、タイシルクの特産地として全国的にその名を知られている町で、ここから全国各県へ大量にシルク製品が出荷されています。世界的に高い評価を得ている何学模様の手織り絹布「マットミー」は王妃による手厚い保護を受けています。

●オープン: 8:00 ~ 18:00頃
(日中のみ公開)

バーン・プラサート考古学博物館

Ban Pra Sat Archaeological Site

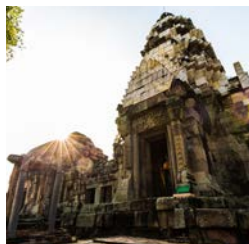


パンチェン遺跡(ウドンターニー県の世界遺産)に次ぐ貴重な遺跡。約1500 ~ 3000年前の人骨や陶器が発見され、この地域のコミュニティや当時の生活や文化が分かります。

●オープン: 8:30 ~ 16:30

パノムワン遺跡

Phanom Wan



ナコーンラーチャーマーから東へ16kmと市内から最も近い場所に位置する11世紀に建てられた古代寺院。最初はヒンドゥー教のシヴァ神を祀っていましたがアユタヤ王朝の時代に仏教寺院へと改宗されています。2001年に修復工事が完成し、遺跡でありながら現在も仏教寺院として地元の人々に使われています。

- オープン: 7:00 ~ 18:00
- 入場料: 50B

ナイトマーケット

Night Market



旧市街のほぼ中心を南北に走るマナット通りには毎日、夕刻になると民芸品や衣料品などを山積みした露天商が集結し、ナイトマーケットが開催されます。もともとは地元の人々の胃袋を満たす食堂街だったため、イサーン特有の味を楽しめる屋台が多いことが特徴です。

- オープン: 6:00 ~ 22:00 (毎日)

ダン・クィアン陶器村

Dan Kwian Pottery Village



市街地から南に約14km離れた場所にあり、今から約250年前、高度な文明を築いた先住民のモン族がこの地に移住してから陶芸が始まりました。焼物作りに長けた彼らは、のびが良く粒子が細かい良質な土と、近くを流れるムーン川の水質に目をつけました。今や全国的に有名になり、街道筋の両側には、陶器の店が所狭しと並んでいます。

- オープン: 8:30 ~ 16:30

ピマーイ・フェスティバル

Phimai Festival



毎年11月、ピマーイ遺跡を舞台にした壮観なライト&サウンドショーや伝統的なボートレースが開催されます。遺跡を背景に古代クメール帝国の栄華を描いた歴史劇と繰り広げられるパフォーマンスは時代をタイムスリップしたかのようで、幻想的な雰囲気に包まれます。

ピマーイ国立博物館

Phimai National Museum



ピマーイの入り口にある博物館。古代クメールやドヴァラヴァティ時代の美術品を展示しています。ピマーイ遺跡で発見されたジャヤヴァルマン7世の像もここで見るができます。特にまぐさ(*)のコレクションは一見の価値あり。

- オープン: 9:00 ~ 16:00 (毎日)
- 入場料: 100B

(*) = 窓や出入り口などの上に乗った水平材

ワイナリー / PBバレーとグランモンテ

PB Valley Khao Yai Winery, GRANMONTE VINEYARD AND WINERY



PBバレーは1998年タイ初のワイン「カオヤイ」としてスタートしました。その後改良を重ね、2006年には各国の品評会で賞を受賞している、実力派のワイナリーです。併設された宿泊施設等も人気でツアーも催行されています。

- 無休 9:00~21:00 (ツアーは時間が決まっていますのでご注意ください)
- <http://www.khaoyaiwinery.com/>

グランモンテ・アソーク・バレーは、海外でワインの醸造技術を学んだオーナーの一人娘が醸造責任者を務める家族経営のワイナリーです。品評会でそのワインの質は高く評価されています。

- 毎日11:00~21:00 <http://www.granmonte.com/>

この他にも2箇所のワイナリー Alcidini & Village Farm & Wineryがあります。

Alcidini - www.alcidini.com

Village Farm & Winery - www.villagefarmwinery.com



南イサーン ブリーラム県

Buri Ram

バンコクから — 約400km

飛行機で — 約1時間

車で — 約5時間

バスで — 約6時間

鉄道で — 約7時間半



パノムルン歴史公園

Phanom Rung Historical Park

パノムルンとはクメール語で「大きな丘」を意味します。石畳の長い参道を登り詰めたところにある丘の上の境内から見下ろすと、眼下には農村地帯が広がり、晴天時にはカンボジアとの国境にあるドンラック山脈がおぼろげに見えます。17年に及ぶ復旧作業の後、1988年に歴史公園としてオープン。ピマライ遺跡と並び最高峰の建築物と称されています。日の出は神殿正面の参道側から上るように、さらに3~4月の満月の日には、神殿の中央を貫く通路の両側に、昇る太陽と満月が正対するように設計されており、建築技術の高さをうかがわせます。

●オープン: 6:00 ~ 18:00 (毎日) ●入場料: 100B

ムアナムタム遺跡

Prasat Muang Tam



11世紀に建設されたバプーオン様式の寺院。装飾には砂岩でできたテラコッタタイルが使用され、回廊内のL字型の池には五頭ナーガの彫刻が刻まれています。

●オープン: 8:30 ~ 16:00 (毎日)

●入場料: 100B

赤い線のシルクスカート(ミー・ルアット)

Red Bordered Skirt or Mi Ruat Skirt



プッタイン市とナーポー市で200年以上の歴史があるシルクスカートで、一枚布で上下が鮮やかな赤、真ん中は黒と茶に金の光沢のあるマットミー柄があしらわれています。



南イサーン シーサケート県

Si Saket

バンコクから — 約540km

バスで — 約9時間

車で — 約7時間

鉄道で — 約10時間



カオプラヴィハーン遺跡

Kao Phra Viharn

タイとカンボジアの国境上にあり、境内はカンボジア領地ですが、タイ側のシーサケート県からしか入ることができません。10~12世紀にかけてクメール帝国によって建立された寺院で、標高650mを超える山頂にあり、カンボジア大平原が地平線まで一望できます。近年は両国の領有権争いで軍による交戦もあり、仮に閉鎖が解除されても個人行動は避け、ガイド付きのツアーで訪れることをおすすめします。

●オープン: 6:00 ~ 18:00 (毎日) ●入場料: 大人400B、子ども200B

ドーク・ラムドゥアン祭

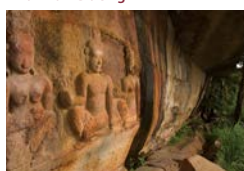
Dok Lam Duan Flower Festival



毎年3月頃に行われるラム・ドゥアン(ホワイトチースウッド)の花の祭りです。シーサケート県はタイで唯一5万本の巨木が自然に生育している県で、4部族のパフォーマンスや写真展、屋台や地元のお土産(一村一品)商品を買うことができます。

パー・モーイデー

Pha Mo I Daeng



眼下にカンボジア領の広大な平原と森林が広がる絶壁。向かいの山頂に建つカオプラヴィハーン遺跡を眺めることもできます。左手に作られている絶壁沿いの段階を降りていくと、岩壁に11世紀中頃に彫られたという3体の仏像を見ることができます。

●オープン: 6:00 ~ 18:00 (毎日)

●入場料: 大人400B、子ども200B



南イサーン スリン県

Surin

バンコクから — 約430km

✈ 飛行機で — 約1時間

🚗 車で — 約5時間

🚌 バスで — 約7時間

🚆 鉄道で — 約9時間



エレファント・ビレッジ

Elephant Village

クラボー村のクアイ族の人々は象使いのスキルに長け、象と友達か家族のように付き合ってきました。かつては多くの村で野生の象を訓練し、林業や運搬に利用していましたが、森林伐採とともに野生の象の数も激減。保護政策を考える事が必要になってきました。エレファント・ビレッジでは、象の生態や家畜としての人と象の歴史を学ぶ施設があります。

●ショータイム: 10:00 / 14:00 (約35分で100B)

象の背に揺られての村めぐりは、200B / 20分

(詳細はカムナン・プラキット・クランバッタナ村長まで)

TEL: 044-145-050



スリン象祭

Surin Elephant Round-Up Show

タイ全土から集結する約200頭以上の象が織りなす壮観なショーを一目見ようと世界中から人々が訪れます。カラフルにお化粧された象のパレード、象と人との綱引き、サッカー、お絵かき、丸太運びなど古くから象との深い関わり合いを持つタイならではの象たちの姿を楽しめるプログラムが多数予定されています。



コーラプム城

Sikhoraphum Castle

高さ約30メートルの5つの仏塔から成る11世紀後半に建てられたクメール遺跡。

●オープン: 7:00 ~ 19:00



バーン・プルアン城

Baan Pluang Castle

東向きで、巨大な長方形の赤土の基礎に建ち、3つの装飾ドアと1つの機能ドアがある地域唯一の仏塔です。U字の堀に囲まれています。近くに巨大貯水池(タイ語でバライ)があることから、仏塔近くのコミュニティが栄えていたことが分かります。

●オープン: 7:00 ~ 18:00 ●入場料: 30B



南イサーン

ウボンラーチャターニー県

Ubon Ratchathani

バンコクから —— 629km

飛行機で —— 約65分

車で —— 約8時間

バスで —— 約10時間

鉄道で —— 約11時間



キャンドル・フェスティバル

Ubon Ratchathani Candle Festival

毎年7月頃、ウボンラーチャターニーではすべての仏教僧が寺院からの外出を禁止されるカオ・パンサー（入安居）の時期に、地元の郷土職人によって寺院に寄贈される蜜蝋キャンドルの工芸品が製作されます。お祭り期間中は、大小様々なサイズや形の精緻な彫刻を施された蜜蝋キャンドルのパレードが開催されます。



サム・パン・ボーク

Sam Phan Bok

タイのグランド・キャニオンとも呼ばれているサム・パン・ボークは「3,000個の穴」という意味です。メコン川の浸食により変形した雄大な河床の岩盤は、メコン川が乾季の時にのみ現れます。浸食された数々の穴は様々な形を成し、犬の頭や星、亀などに見えます。景観を楽しむことはもちろん、岩盤を登ることもできるほか、メコン川のクルーズでは川沿いのラオスやタイの人々の日常生活を垣間見ることができます。周辺には、イサーン料理のレストランや宿泊施設のコテージも用意されています。



パー・テム国立公園

Pha Taem National Park

岩盤と森林に覆われた高原に広がる340km²もの広さを持つ自然公園です。断崖の上から見下ろすメコン川流域の景観は絶景で、季節になると岩の平原一面にさまざまな植物が花を咲かせます。また公園入り口近くにそびえ立つキノコ型の岩は、表面に貝殻の化石が張り付いていて、古生代はここが海面下であったことがわかります。一番の見所は、断崖絶壁に描かれた壁画で、3000～4000年前の人々の生活を表したものが300以上発見されています。

●オープン: 6:00 ~ 18:00 (毎日) ●入場料: 大人400B、子ども200B



ワット・ノン・ブア

Wat Nong Bua

仏教誕生2500周年の記念として1957年に建てられたこの寺院は、東北地方で唯一のインド様式を取り入れた寺院で、ピラミッド型の仏塔には仏教にまつわる神話が見事に描かれています。仏塔の実態はインドのブツガヤの大仏塔をモデルにして建立された、高さ57m、幅17mの立派な仏塔です。ライトアップ時は仏塔本体が美しく金色に輝きます。

●オープン: 8:00 ~ 16:30 (毎日) ●入場料: 無料



ケーナタナ国立公園

Kaeng Tana National Park

タイ第33番目の国立公園で、クメール語で「巽」という名を持ちます。その広大な面積は80km²、海拔200m、最高地はバンタッド山頂にて海拔543mを有します。メコン川とムン川の豊かな自然に囲まれた美しい国立公園で、キャンプロジも完備され、近年ではエコツアーなども盛んです。入り口正面には「Tana Rapids」(死の岩棚)と呼ばれる入り江があり、険しく切り立った岩底とその間に密生する木々のため、古代は多くの船がここで沈没したと言われています。休憩所には世界最大の石造りのテーブルとイスが設置されています。

●オープン: 8:30 ~ 16:30 (毎日) ●入場料: 大人100B、子ども50B

ワット・サー・プラ・サンスック

Wat Sa Pra Sansuk



ほとんどの建物が陶磁器で作られている寺院。入口の巨大な船は、昔、王と女王がジャバヤ川を下るときの船を再現しており、町の名物となっています。

●オープン: 8:30 ~ 16:30 (毎日)
●入場料: 無料

バン・パオオ鑄造村

Ban Pa Ao



ウボンから北へ約20kmのところにある、ラオスから移住してきたという伝承を持つ小さな村。カウベルやそれをモチーフにした飾り、食器や仏具など昔からの技法で真鍮の鑄造製品を作り続けています。

●オープン: 8:00 ~ 16:00 (毎日)
●入場料: 無料

トゥー・カラー・リバー

The Two-Coloured River



ムン川河口のコンチャムではムン川とメコン川の合流点を眺めることができます。泥を含んで茶色に濁ったメコン川に比べて、ムン川は青みがかった色をしており、ボートに乗って川の真ん中まで進むと、2色の水流が面白い模様を描いているのが見られます。手を触れてみると、水温も違うことが分かります。

チョンメック(タイ~ラオス国境)

Crossing the border



唯一の地続きのラオス国境。人とモノが集まる国境沿いに広がる市場は魅力的な見どころとなっています。

パクセーはラオスの元首都で古代クメール遺跡ブラサートヒン・ワット・プーが有名です。その他、メコン川の川幅が7kmにもおよぶシータンドン合流点、リービー滝、コンパベン滝なども見どころです。

●イミグレーションオフィス
オープン: 8:00 ~ 18:00



南イサーン
ヤソートン県
Yasothon

バンコクから — 530km
 バスで — 約8時間
 車で — 約7時間



ブン・バンファイ(ロケットフェスティバル)
Bun Bang Fai, Rocket Festival

東北地方の有名な郷土イベントの一つブン・バイファイ(ロケットフェスティバル)。バンファイは東北弁で「空へ打ち放す砲撃能力が充てんされた竹」を意味します。手作りバンファイは様々な得度式で行われます。ブン・ファイファイ祭は毎年陰暦6月(現暦5月頃)、豊稔をもたらす豊かな雨を乞う儀式として開催。毎年50~60本のロケットが打ち上げられます。ロケットが空高く上がれば、雨に恵まれ五穀豊穡と言われています。

パヤ・テーン公園
Phaya Thaen Public Park

干ばつのあるタイ東北地域では、パヤ・テーンという名の神様が雨をコントロールしていると信じられています。毎年5月には、このパヤ・テーン公園でロケットや花火を打ち上げて雨乞いの儀式をしています。またボートレースや水かけ祭の会場もこちらの公園で行われています。

ワット・マハタート
Wat Mahathat

ヤソートン市内では最も大きな寺院。ラオスとの関係も深いプラ・ブグダ・ブッサラヤート仏は通称プラ・ケオヤナムとして親しまれ、瞑想姿の坐像でチェンセン様式、膝幅1.9m。ヤソートの古代シンボルでラマ3世王より初代県知事に贈られたものです。 ●入場料:無料



北イサーン
アムナットチャルン県
Nakhon Ratchasima

バンコクから — 590km
 バスで — 約9時間
 車で — 約8時間



**ブッタ・ウッタヤン公園と
プラ・モンコン・ミンムアン仏像(通称プラ・ヤイ)**
The Buddha Uthayan & Phra Mongkhon Ming Mueang

市街地の北方3km。ウッタヤン(=公園)内は岩や石の装飾、豊かに茂った様々な草木が自然美を造りだしています。悪を征した姿勢のプラ・モンコン・ミンムアン仏像(通称プラ・ヤイ)は膝幅11m、高さ20m。本来、幅8.4m、長さ12.6m、高さ5.2mだったものを1965年に修復・金箔装飾が施されました。その後ろに配された二体の仏像とともに東北地方の護り仏として崇拝されています。 ●入場料:無料

ワット・タム・セーン・ペット
Wat Tham Saeng Phet



巨大な砂岩の平原に位置するこの寺院には、祠(ほこら)、仏塔、巨大な涅槃(ねはん)像があり、神殿の北側には、美しい仏像を収めた大きな洞窟があります。

ブン・クーン・ラーン祭
Bun Khun Lan Ceremony



ブン・クーン・ラーン祭りは、東北地方におけるポーソップという米の神様に収穫を感謝するため行事です。「ブン」は「増やす」、「ラーン」は「稲の刈り取る広場」という意味で、「出来上がった米を積み上げること」を指しています。毎年1月に行われますが、米の収穫時期により日程は地域によって異なります。



南イサーン

チャイプーム県

Chaiyaphum

バンコクから — 340km

車で — 約4時間

バスで — 約5時間

鉄道で — 約6時間

最寄り駅はChaturat駅



サイ・トーン国立公園

Sai Thong National Park

面積約138km²のパン・フーイ山脈を有するサイ・トーン国立公園。見所は、公園管理事務所から約1kmのところにあるサイ・トーン滝で、滝の落差は100mです。他にも県花のタイ語で「ドーク・グラチャオ」、英語で「サイアムチューリップ」と呼ばれるピンクの花は、毎年6月から8月までが見頃です。綺麗な自然の景色と自然が作った珍しい形状の奇岩も必見です。

●オープン: 8:30 ~ 16:30 ●入場料: 大人200B、子ども100B

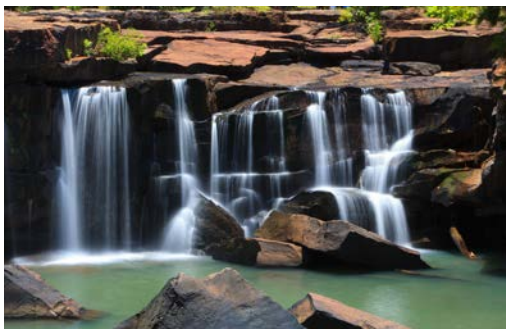


パー・ヒン・ガム国立公園

Pa Hin Ngam National Park

標高約200m~800mの山々が連なる国立公園。西側には、数百万年前の氷河や風雨の浸食などによってできた珍しいかたちの岩々が広範囲に点在するラン・ヒンガム、北へ約2kmいくと、タイの北部、中央部そして東北部の境目となっている断崖絶壁のパンフーイ山があります。またラン・ヒンガムとパンフーイ山までの道には、タイのチューリップ、グラチャオ花の群生が咲き誇る野原が広がります。ベストシーズンはこのタイ・チューリップが満開になる6月~8月で、グラチャオ祭りなども同時開催されています。

●オープン: 8:30 ~ 16:30 ●入場料: 大人200B、子ども100B



タットン国立公園

Tat Ton National Park

公園はブー・ランカー山脈の一部で総面積約217km²。見どころは、タットン滝、チャオポー・タットン祠(別名ブー・ドゥアン)、パーイアン滝、パーソンチャン滝、パーニット滝など。市役所の北方21kmの国道2051号線沿いです。

●オープン: 6:00 ~ 18:00(毎日) ●入場料: 大人200B、子ども100B

プー・レーン・カー国立公園

Phu Laen Kha National Park

この国立公園は約150km²の広大な土地に、さまざまな地形があります。断崖、山稜、石のテラス、不思議な形の岩が名所で、散策するには5月から12月がおすすめです。

●オープン: 8:00 ~ 18:00 ●入場料: 大人100B、子ども50B

チャイプーム・グランチャオ花祭り

Kra Chaio Flower Festival

毎年7月、パー・ヒン・ガム国立公園はピンクのグラチャオの花で一面が覆われます。グラチャオとはタメリック(インド産ウコン)のこと。郷土芸能や各コンテストなども開催されます。



北イサーン

ウドンターニー県

Udon Thani

バンコクから — 564km

飛行機で — 約65分

車で — 約7時間

バスで — 約9時間半

鉄道で — 約10時間



クンパワピー(紅い蓮の海)

Red Lotus Lake

ウドンターニー市内から南東へ約43km、クンパワピー郡のほぼ中央に、紅い蓮の海(タレー・ブア・デー／正式名:ノーンハン)と名づけられた総面積約36km²の広大な湖が広がっています。12月から2月にかけての早朝、水面が蓮の花で埋め尽くされ、その名の通り湖が紅く染まる幻想的な景色を見ることが出来ます。1月半ばにはタレー・ブア・デーのお祭りが催され、東北部ならではの民謡音楽ポンラーンの演奏をはじめ、ムエタイやセバクタクローの試合などで、賑やかなひと時を迎えます。満開の時期には、ボートで湖を周遊することも可能です。



バンチェン遺跡(世界文化遺産)

Ban Chiang

ウドンターニーから東へ約50km、紀元前2500年-2000年にさかのぼる先史時代の貴重な遺跡で1992年に世界文化遺産に登録されました。バンチェンの人々は、陶陶、文様陶器、彩色陶器という3つの時代に分けられる稲作・農耕文化をもち、陶器技術も発達したと言われています。また、遺跡が発掘された状態を保存した遺構を見学することもできます。隣接するバンチェン国立博物館(オープン:9:00~16:00、料金:150B)は、1960~70年代の発掘当時に既存の人類史を覆す大発見と世界中で騒がれた、貴重な出土品が展示されています。

●オープン:9:00~16:00(毎日) ●入場料:150B



プー・プラ・バート歴史公園

Phu Phra Bat Historical Park

ウドンターニーの西部に位置する広大な歴史公園。プーは「山」、プラバートは「聖足跡」を意味しており、9~11世紀には、仏教の祭事場として使われていました。公園内では、自然の浸食作用によってできたキノコ型の奇岩や、岩肌に赤い塗料で描かれた壁画を見ることができ、先史時代の人々の営みを窺い知ることができます。また、付近を治めていた王がウサという美しい姫を隠し育てた伝承に基づく奇岩もあり、珍しい歴史的な産物としての見応えは十分です。

●オープン:8:30~16:30 ●入場料:100B



バン・ナカ

Ban Na Kha

イサーン地方の「キット」と呼ばれる織物が有名な村で、特徴的な織物は、幾何学模様やダイヤモンド格子、微小な横糸錦織が美しい名品です。村では郷土で織られた布地が比較的廉価で購入でき、値段交渉も可能、既製品のワンピースやジャケットなどの衣料品をはじめ、バッグやかわいい小物などタイ国内でもここでしか手に入らない掘り出し物のアイテムを見つけに訪れてみるのもよいでしょう。

●オープン:9:00~18:00 ●入場料:無料

ウドーン・サンシャイン・フレグラント蘭園

Udon Sunshine Fragrant Orchid Garden



ウドーンターニー市街の北西2km、ソントウ15番乗車。蘭園は、早朝から午後1時ごろまでウドーン・サンシャイン・オーキッドの甘い芳香に満ち、蘭から作られた香水も販売。ダンシング・ティ(踊る茶葉)でも有名です。

- オープン: 8:00 ~ 17:00(毎日)
- 入場料: 無料

カイ・クラター

Khai Krata



ウドーンターニーでは、イサーン特産のハムを挟んだフランス風パンとカイ・クラターと呼ばれるフライド・エッグにコーヒーという欧風の朝食を食べることができます。道端の屋台でカフェ気分を楽しんでください。



北イサーン
カラシン県
Karasin

バンコクから 519km

✈️ 飛行機で 約1時間

🚌 バスで 約7時間半

🚗 車で 約6時間40分

プー・クムカオの恐竜化石
(=シリントーン博物館)

Dinosaur Fossils at Phu Khum Khao

タイで最大規模の恐竜化石が集中する場所です。市街からハイウェイ1227号線で30km、右折後ワット・サッカワン方面へ1km。鉱物資源局は、現在では全て揃った骨格をはっきり見られる数エリアを発掘。ほとんどは大きく、首長、草食、竜脚類で約1億3千年前に生息していたと考えられます。

- オープン: 9:00 ~ 17:00
- 入場料: 大人100B、子ども50B



ワット・プー・カオ

Wat Phu Kao

サハットサカン区から7kmにある自然に囲まれた静かで落ち着いた寺院ですが、ここに奉られている黄金の涅槃像は通常と違い左側を下にしている大変珍しいものです。

- 入場料: 無料

バーン・ポーン・プレー・ワーシルク織物センター

Ban Phon Phrae Wa Silk Weaving Group



この織物センターは、タイ東北部の少数民族プータイ族の美しい手織りシルクで有名です。この貴重な手芸技術は、タイ国民の母として敬愛されているシリキット王妃から高い賞賛を得ています。

プラ・タート・ヤーク

Phra That Yaku



この地域で、戦後唯一残っているクメール式の仏塔。周囲に建っている石柱には仏教の教えや逸話が彫りこまれています。毎年4月にはここで雨の恵みを願う儀式が行われています。市街から約20km。

- 入場料: 無料



北イサーン

ローイエット県

Roi Et

バンコクから — 512km

✈️ 飛行機で — 約1時間

🚗 車で — 約7時間半



プラ・マハ・チェディ・チャイ・モンコン

Phra Maha Chedi Chai Mongkhon

白を基調とし黄金の装飾が施されている仏塔は、ローイエット県の名前の意味である「101」を用い、横、縦、高さはすべて101mになっています。6階建ての仏塔は、タイの中央部と東北部が混在する建築様式となり、4階からはローイエット県の風景を眺めることができます。また、最上階には仏舎利が納められています。塔の内部は煌びやかな天国をイメージした装飾が施されています。

●オープン: 6:00~17:00 ●入場料: 無料

www.facebook.com/pg/JDchaimongkol/



ワット・プラチャーコム・ワナラム

又ワットパクン

Wat Prachakhom Wanaram Or Wat Pakung

インドネシアのポロブドゥール寺院遺跡をモデルにし2004年に建立されました。タイで最初の天然の砂岩で作られた仏塔で、高さ19m、幅40m、仏塔の上部は約1.5kgの純金で作られています。塔内は5階層に分けられ、壁にはお釈迦様の物語などが刻まれ、中心部には仏舎利が置かれています。地元の人々が早朝から托鉢に訪れており、早い時間でも参拝が可能です。

●オープン: 8:00 ~ 17:00 ●入場料: 無料



カオプン・ブンパウェット・フェア

Khao Pun Bun Pawet Fair

毎年3月の第一週末にブン・ balan・チャイにて行われる仏教程度式で、僧侶による説法、パレード、郷土芸能、東北スタイルのヌードル「カオプン」を食べて祝います。

●時期: 3月第一週末



北イサーン

ブンカーン県

Bueng Kan

バンコクから — 751km

🚗 バスで — 約11時間半

🚗 車で — 約10時間

2011年3月23日に誕生したタイ77番目の県で、ラオスとの国境沿いに位置します。メコン川に接し、豊かな自然に囲まれた地域で、主な産業は農業で、カボチャの栽培で知られています。30mの高さを誇るタンティップ滝など県内に多数点在する滝が見所

です。その他は、毎週火曜日、金曜日に開かれる国境ならではの「ラオス・マーケット」やメコン川沿いのビーチ、歴史ある古寺などの観光スポットも人気です。気候も冷涼であることから、タイ人にも人気の観光地となっています。



北イサーン

ノーンカイ県

Nong Khai

バンコクから — 624km

バスで — 約10時間

車で — 約8時間

鉄道で — 約12時間



ワット・ポー・チャイ

Wat Pho Chai

ノーンカイを代表し、最も信仰を集める寺院であり、人気の観光スポットでもあります。ラオスのランサーン王朝の流れをくむご本尊が有名で、寺院内の壁画には、ご本尊の由来などが丁寧に描かれています。また、かつてメコン川に沈んだご本尊を懸命の捜索の末に無事発見し、再び納めたという言い伝えは、地元の人々の厚い信仰心を表しています。

●オープン: 8:30 ~ 16:30 ●入場料: 無料



バンファイ・パヤナーク

Bung Fai Paya Naga (Dragon Fire Ball Festival)

陰暦の11月の満月の夜、メコン川の中で起こる自然現象が見もの。地元の人々の間では「バンファイ・パヤナーク(龍神の火の玉)」と呼ばれ、卵ぐらいの大きさのピンクがかかった光の玉が川面から上空へ浮かび上がります。未だなぜこの現象が毎年メコン川で起こり、ノーンカイでしか見られず、安居の最終日に起こるのかについては謎に包まれています。龍神の火の玉のほか、安居の最終日前3日間にはロングボート・レガッタも開催。最終日にはレースが繰り広げられ、メコン川沿いに住む人々の文化や伝統を垣間みることができます。

●時期: 10月ごろ ●場所: ノーンカイ県メコン川沿い



サラ・ゲオ・グー又ワット・ケーク

Sala Kaeo Ku Or Wat Khaek

20世紀のラオスの宗教家ブンア氏によって造られた庭園。園内は、仏教とヒンズー教を混在させた宗教観を具現化した仏像やモニュメントが所狭しと並んでおり、寺院とは異なった一種独特の雰囲気が漂っています。

●オープン: 8:00 ~ 18:00

ターサデット船着場

Tha Sadet



ノーンカイから対岸のラオスへ渡る船着場帯にはアーケード式のマーケットがあります。ラオスの布製品や銀の店の他、中国製の食品や生活雑貨用品を売る店も並びます。ラオスを眺めながらメコン川沿いの遊歩道を散策できる国境の町でしか味わえないローカルな雰囲気を楽しんでください。

タイ・ラオス友好橋

Friendship Bridge (Thai → Laos)



メコン川に1994年に完成したタイ(ノーンカイ)とラオス(ピエンチャン)を結ぶ長さ1,174mの国境の橋。ラオス・ピエンチャンの見どころは、ワット・スィームアン、ワット・プラタートルアン、ワット・シーサケートなどの寺院の他、パトゥーサイ・モニュメント(ラオス凱旋門)、ローカル・マーケットなど。

●イミグレーションオフィス
オープン: 6:00 ~ 22:00



北イサーン
ナコーンパノム県
Nakhon Phanom

バンコクから — 750km

飛行機で — 約75分

バスで — 12時間

車で — 約10時間



プラ・タート・パノム

Phra That Phanom

先端に黄金の飾りを持つ57の仏塔がこの地域のシンボルとなっています。釈迦の肋骨を安置しているとも言われているだけに、この寺院に対する地元の人々の信仰もひときわ厚く、塔の周りながら一心に祈りを捧げる姿を見ることができましょう。1月～2月にかけては7日7晩の祭りも開かれます。

●オープン: 6:00 ~ 20:00

●入場料: 無料



光のボートパレード・フェスティバル

Illuminated Boat Procession (Lai Ruea Fai)

毎年10月の満月の夜、ブッダが天国で安居を終え、地上に戻ったことを祝う祭り。数百という光で飾られた竹製のボートのパレードは圧巻です。

※祭りの日程は、現地の事情により予告なく変更になる場合があります。予めご了承ください。

●時期: 10月

ホーチミン・ハウス

Ho Chi Minh House

ムアン区ナジョック村にあるベトナムのホーチミン元首相がタイに亡命していた頃の住居。家屋は記念して建てられました。

●オープン: 8:00 ~ 18:30 ●入場料: 無料

メコン川クルーズ

Mekong River Cruise

メコン川クルーズは、ナコーンパノムで自然の美しさを体感できる見逃せないアクティビティのひとつ。メコンの街の人々は訪れたゲストとの交流にも積極的で、川の周辺に住む人々の生活風景を見ることもできます。



北イサーン
ノンブアランプー県
Nong Bua Lamphu

バンコクから — 559km

バスで — 約9時間

車で — 約7時間15分



バーン・コン・サワン陶器村

Ban Khong Sawan Pottery Village

この村は、伝統的な製法で作られた素焼陶器や素焼製品が有名で、村周辺や路肩などで売られています。ノンタンという集落にあるこの村は、ノンブアランプー郡から17km、ノンブアランプー県からウドンターニーに向かう高速210号線を北上した場所にあります。

タム・エラワン

Tham Erawan Cave



ルーイ県との県境にあるPHA THAM CHANGという岩山の中にあり、600段の階段の上にあります。

●オープン: 8:30~16:30

クット・ヘー・シルク

Kut Hae Silk



クットヘー郡の絹織物は、タイ東北地方の5つ星製品としてよく知られており、国家賞を数多く受賞しています。様々な幾何学模様美しい織物です。

ワット・タム・クロンペン

Wat Tham Khlong Paen

市街からウドンターニー方面へ約13km。森林に囲まれた静かな寺院。敷地内にある洞窟には寺院の名前の由来ともなった古代の2面太鼓があり、岩壁のくぼみに彫刻のような仏像が納められています。寺院は1989年に亡くなるまでルアン・ブーカオ高僧の瞑想の地でした。高僧の身のまわり品やロウで模した高僧を収めた博物館もあり、参詣や功德に訪れた人々に毎日一般公開されています。

貝化石博物館

Shell Fossil Museum

1億3,400万年前のジュラ紀時代の二枚貝の化石が数多く展示されています。これらの化石は、近くの山々の高さ50mの崖で発掘されました。

●オープン: 8:30~16:30



北イサーン

ルーイ県

Nakhon Ratchasima

バンコクから ——— 520km

✈ 飛行機で ——— 約1時間

🚌 バスで ——— 約8時間

🚗 車で ——— 約7時間半



ピー・ター・コン・フェスティバル

Phi Ta Khon Festival

有名な仏教説話をもとにした祭りで、崇高な仏像について行く精霊に仮装した若者が繰り広げる、色彩やかで、活気に満ちたピーターコン・パレードやマスク・ダンスのコンテストなどが見どころです。

●時期6~7月ごろ

チェンカーン市役所近くで文化体験

Cultural Experience in Chiang Khan



ルーイ市街から北へ約48km、車で1時間ほどのところにあるメコン川沿いの小さな町・チェンカーンは、「第二のパーイ」とも呼ばれ近年タイの若者や外国人観光客も多く訪れる注目の癒し系スポットです。

プー・ルアン野生保護地

Phu Luang Wildlife Sanctuary

ルーイやパーサク川豊かな自然に囲まれたプー・ルアン野生動物保護区。その豊富な緑が、たくさんの種類の草食動物の生命の源となっています。トレッキングには申込みが必要となりますので、事前にご確認ください。

●申し込み先: プー・ルアン観光事務所 TEL: 042-801-955

●オープン: 6:00~18:00

タイ・ダム文化村

Tai Dam Cultural Village

カオケオ町バーン・ナ・パ・ナットにあるタイ・ダム(黒タイ族)文化村では、1905年にラオスから移住した黒タイ族の伝統と文化を知ることができます。伝統的な機織の様子や地元製品の購入も可能。

スアン・ヒン・パー・ガーム

Suan Hin Pha Ngam

この公園では、中国の昆明市にある石林を彷彿とさせる、100年以上かけてユニークな形を成形した石灰石やカルスト地形の圧巻の美しさを眺めることができます。

●オープン: 8:00~18:00



北イサーン コーンケン県

Khon Kaen

バンコクから — 450km

✈️ 飛行機で — 約55分

🚗 車で — 約5時間半

🚌 バスで — 約7時間

🚆 鉄道で — 約8時間

サラ・マイ・タイ

Sala Mai Thai



1992年8月12日に王妃生誕60年祝賀のためのプロジェクトの一環としてオープン。王妃はタイ東北地方のシルクプロモーションに尽力してきました。アジア・シルク・アワード受賞した世界中で最も高価なマットミー柄の織物も展示しております。

●オープン: 9:00~17:00
(水曜日休み)

プーウィアン国立公園

Phu Wiang National Park



ハイウェイ2038号線沿いに325km²の広さを有する園内にはイサーンの先人たちを描いた先史時代の壁画など数多くの考古学的ポイントがあり、恐竜化石もここで最初に発見されました。

●オープン: 8:30~16:30
●料金: 大人200B、子ども100B
<http://portal.dnp.go.th/> (タイ語)

プラ・タート・カム・ケン

Pra That Kham Khan



タイ語で、「タマリンドの心材の仏塔」を意味するプラ・タート・カム・ケン。毎年旧暦6月に祭りが開催されます。

ワット・トゥン・セーティー

Wat Thung Setthi

ワット・トゥン・セーティーは、ヤム・ダング僧侶の求めた、ダンマ(Dhamma)の黙想場所をイメージして建立されました。比較的新しく、ステンドグラスの窓やモザイクアートが施されている、煌びやかな寺院です。

プラ・マハタート・ゲン・ナコーン

Phra Mahathat Kaen Nakhon

9階建ての仏塔の最上階からは、街の美しいパノラマの景色を楽しめます。 ●オープン: 7:00~17:00

キング・コブラ村

King Cobra Village

キング・コブラのダンスやショーなどをお楽しみいただけます。 ●オープン: 8:00~17:00



北イサーン サコンナコン県

Nakhon Ratchashima

バンコクから — 647km

✈️ 飛行機で — 約70分

🚌 バスで — 約11時間

🚗 車で — 約8時間40分

ろうそく祭

Wax Castle Festival



僧侶の厳しい修行期間の終わりを告げるオーク・バンサー(出安居・であんご)を記念するろうそく祭では、蜜蝋で作った芸術的な寺社や城を見ることができます。

プラ・タート・チュン・チュム

Phra That Choeng Chum



約2000年もの歴史を持つ、王宮守護寺院で4つの仏が祭られています。蓮のつぼみを形どった24mの白い仏塔が特徴的でひときわ目をひきます。

●オープン: 8:00~18:00
●入場料: 無料

藍染め

Indigo Products



タイでは、染色の原料にタイワンコマツナギという植物を使用しています。UVカット効果や藍染めの匂いにリラックス効果があるとも言われています。毎週土日の夕方、プラタート・チュン・チュム前の通りでは藍染め商品が並び購入できます。

プラ・タート・ナライ・チェン・ウェン

Phra That Narai Cheng Weng



10~11世紀のクメール王妃ナライ・チェン・ウェンによって建てられた、最も完璧な形を残しているクメール式の建造物のひとつです。

●入場料: 無料



北イサーン

マハーサラカーム県

Maha Sarakham

バンコクから — 475km

バスで — 約8時間

車で — 約6時間

プラ・タート・ナー・ドゥーン

Phra That Na Dun



ブッダの遺物が奉納されている県内の寺の中で最も厚い信仰を得ています。境内には仏教関連博物館や植物園なども設けられており、仏教行事の際には、地元の人々が大勢集まる中心的な宗教施設となっています。

バーン・ペーン

Ban Phaeng



1823年に設立された古い村。葦のマットを購入することができます。

●オープン:24時間

コーサンピ森林公園

Kosamphi Forest Park



1976年に設立され、50エーカーの公園には、ゴムの木、サルスペリなど大きな樹木や自然の池が美しい森林公園。

●オープン:6:00~18:00

チーロン森林公園

Chi Long Forest Park

市外から約10km、カンタラウィチャイ郡バン・ワンワーに所在。公園は東北地方の主流チー川の流れの分岐によって形成された、ゴムの木に覆われた島にあります。

●オープン:8:30~16:30 ●料金:無料



北イサーン

ムクダハーン県

Mukda Han

バンコクから — 642km

バスで — 約10時間

車で — 約8時間半



ワット・マノーピロン

Wat Manopirom

ピエンチャンの建築家によって建設された古い寺です。会堂と礼拝堂には、仏教と地元のアートの美しさを感じる、仏陀の像が飾られています。1904年、この寺院は火事により大部分が損傷を受けましたが、その後1911年に完全に改装復刻されました。

●オープン:8:30~16:30

インドチーン・マーケット

Indochina Market

ロシア、中国、ベトナム、ラオスなどの輸入品が買えるだけでなく、観光スポットとしても有名です。

●オープン:8:30~17:00

ムクダハーン~サワンナケート(国境ポイント)

Mukdahan-Savanaket

メコン川を挟んだラオスのサワンナケートとの交易の町として栄えてきました。周辺に立つマーケットには、ラオスやベトナム、カンボジアなどからの品々もそろっています。物品の買い付け来たラオスの人々でいつも賑わっています。

※ラオスへの行き方は、P25を参照

Foods

フード

全体的に唐辛子の辛味が強いのが、イサーン料理の特徴。料理には野菜やハーブの盛り合わせがつきます。



ガイ・ヤーン

地鶏を骨付きのままタレに漬け込み、竹串に刺し炭火で焼く。東北部の定番料理。



ソムタム

熟していない青いパパイヤ、ピーナッツ、干しエビ、ライムなどを和えたサラダ。タイ東北部の代表的な料理。



カオ・ニヤオ

蒸したもち米を竹のカゴに入れて食卓に用意される。ひと口大を指で丸め、料理と一緒に食べる。

Souvenirs

お土産

イサーン地方は昔から、シルクの代表的な生産地であるとともに、枝編み製品、陶器、藍染めなどの古来からの伝統工芸でも知られ、多くの工房があります。



ワイン

タイの純国産ワイン。1996年より、「新世界ワイン」として世界的にも注目を集めています。

●タイ・ワイン協会

<http://www.thaiwineassociation.com/>

布製枕

独特の色使いや織り模様が可愛い。



シルクストール

イサーンはタイシルクの産地として知られ、上質なシルク製品が手に入ります。



ローイエット県



ナコーンパノム県



タイー村一品運動 (OTOP) One Tambon One Product in Thailand

「OTOP (オートップ)」とは、タイ政府がすすめる「一村一品運動」のことで、全国77県 7,000以上の村が登録し、1村につき1種類の主要製品を作っています。2001年に立ち上がったOTOPプロジェクトにより、品質管理された特産品は「OTOP」マークが表示され、買い物時のひとつの目安になっています。

パッケージにOTOPマークのある商品

特産品といっても商品は様々。職人技が光る伝統工芸はもちろん、お菓子やお茶といった食品から自然派の美容アイテムまで幅広くあります。OTOP商品は、品質が良いことはもちろん、タイ各地の伝統と職人技、さらにはその土地ならではの素材と、全てが一体となった逸品がそろいます。OTOP商品の中でも一番身近なのが、スーパーマーケットで手に入る食品です。大型スーパーマーケット「Big C (ビック・シー)」や「TESCO Lotus (テスコ・ロータス)」などで購入することができます。



www.thaitambon.com (タイ語)

Event Calendar

イサーン イベントカレンダー

1月

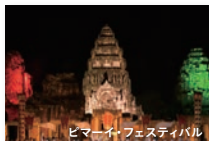
JANUARY

●コーンケーン国際マラソン

1月の第3日曜日にコーンケーン大学にて開催。(コーンケーン県)

●ピマーイ・フェスティバル(→P6)

(1~4月最終土曜日)(ナコンラーチャーシマー県)



ピマーイ・フェスティバル

3月

MARCH

●ナコーンパノム・メコン川国際トライアスロン・アジア杯

美しい文化ショー、メコン川沿いでの夕食も一緒に楽しめます。(ナコーンパノム県)

●カラシン・プレーワーシルク祭り

複雑で色鮮やかなプレーワーシルクのお祭り。シルクの女王と形容され、カラシンの名産。(カラシン県)

●ローイエット・カオブン・ブンパウェット・フェア(→P15)

(ローイエット県)



プレーワーシルク祭り



カオブン・ブンパウェット・フェア

4月

APRIL

●コーンケーン・ソクラン祭り

高く崇拜される寺院や仏像、目上の人々へ敬意を払い、水を掛け合ってタイ正月を祝います。(コーンケーン県)

●ノーンカーイ・ソクラン祭り

タイ・ラオス式ソクラン祭りが見もの。メコン川を挟んだ両国の文化が垣間見られます。(ノーンカーイ県)

●パノムルン・フェスティバル

パノムルン遺跡の15の戸口の間に直線的に射し込む朝日が見られる年に一度の祭りです。(プリーラム県)



ソクラン祭り

5月

MAY

●ヤソートン・ブン・バンファイ・ロケット祭り(→P11)(ヤソートン県)



ブン・バンファイ・ロケット祭り

7月

JULY

●グラチャオ花祭り(→P12)(チャイヤブーム県)

●ピー・ター・コン・フェスティバル(→P17)(ルーイ県)

●キャンドル・フェスティバル(→P9)(ウボンラーチャーターニー県)



キャンドル・フェスティバル



光のボートパレードフェスティバル

10月

OCTOBER

●サコンナコン・キャンドルフェスティバル&ポートレース

安居明け「オークパンサー」を祝い、美しく彫刻されたキャンドルの山車が奉納されます。(サコンナコン県)

●ナコーンパノム・光のボートパレードフェスティバル(→P17)

(ナコーンパノム県)

●ノーンカーイ・バンファイ・パヤナーク(龍神の火の玉祭り)(→P16)

(ノーンカーイ県)



スリン象祭

11月

NOVEMBER

●スリン象祭(→P8)

●コーンケーン・シルク&ブックシアウ祭り

11月末~12月頃に、コーンケーンの特産であるシルクをテーマに、郷土芸能やパレードが繰り広げられます。シルクの展示販売も行われます。

クメール遺跡を訪ねて

～イサーン南部石造神殿～



イサーン南部あるいはコラート高原は、カンボジアと国境を接するムン川とドンラック山に囲まれた地域。2000年以上前に人が居住した痕跡が発見されています。かつてこの地域は「上部クメール」と呼ばれ、ドンラック山に隔てられた現在のカンボジアである「下部クメール」と区別されていました。この2地域の人々の通行、通信は当時より、40以上の峠を通じて行われていました。当時往来があったことはピマーイ遺跡からアンコールワットへとつながる戦場に共通の文化と生活様式が見られることから容易に判明します。

アンコール朝の諸王はシヴァ神信仰という王家の宗教を背景にし、その神々の聖地をカンボジアの地に再現しようと都城や大伽藍を造り続けました。その中には普遍的で崇高な祈りと、魂の救済に対する憧れ、王権永続の願いが込められています。クメールの建築様式はヒンドゥー教の宇宙観に基づいて、建築装飾とその配置すべてに象徴的な意味が含まれています。堀は宇宙の大海、周囲の壁は山々、聖堂の塔は世界神秘の中枢「須弥山（しゅみせん）」を象徴しています。

石造神殿設営の理由

石造神殿はクメール文化の特徴をなしている考古学的遺跡。王の現存神あるいはシヴァ、ヴィシュヌ、ブラフマーなどのヒンドゥー神としての王=神説に基づき、クメールの王たちは神殿を神聖な住居として建造しました。

タイでは石造神殿は6世紀頃から建造され始め、イサーン南部の石造神殿はクメール王朝と関係をなした強力で支配者の力を示しています。神殿を中心に、人、物が集まり、都市ができ、クメール文化は発展していきました。

また水を集め貯蔵する場所（バライBaray）も作られました。今日でも水源として利用され続けている貯蔵所が、ムアンタム寺院のように重要な水源でした。石造神殿と貯蔵所は10～12世紀頃のコミュニティの生活に欠かせないものでした。

ほとんどの古代クメール建築の基礎には赤土が使われ、建築には曲線の装飾を施した砂岩でできています。一部の建物はレンガ作りですが、大半はやわらかく彫刻しやすい砂岩が使われています。

石造建築物の特徴と種類

古代のクメール建築はその用途により、3つに分類できます。

● Stone Sanctuary

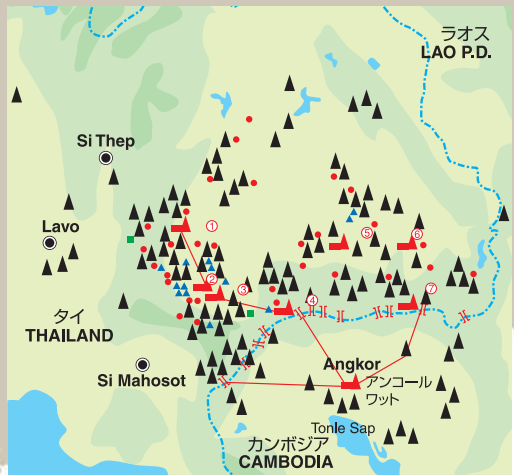
石造神殿にはおもに寺院を指し、たとえばプラサート・タムアントム(Prasat Ta Mueang Thom)のように儀式を執り行う場所として通常大規模な石造となっています。

● Arogaysala (Kuti Ruesi)

アロガヤサラー(クティ・ルースィー)と呼ばれる、地域のけが人や病人、心と体のケアを必要とする人たちのための施設。例としてプラサート・タムアントット(Prasat Tamueang Tot)があげられます。この種類の建造物の特徴は、“癒し手を示す水の入った器を持った瞑想姿勢の仏像(Phra Bhaishajayaguruvaithourayaprapha)”が奥に収められています。

● Dharmasala (House of Fire)

タマンサラー(炎の家)は旅人がアンコールからピマーイまでの道中、立ち寄る明かりの家。例としてプラサート・タムアンがあげられます。

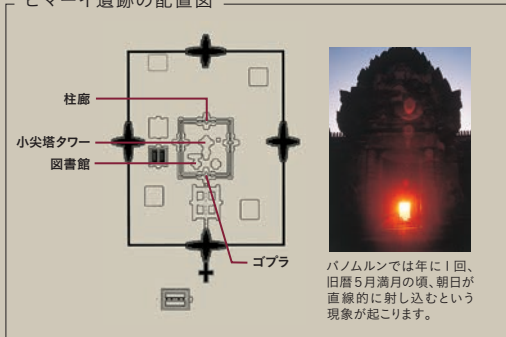


- ▲ 大石造神殿
Grand Stone Sanctuary
- ① プラサート・ピマーイ
Prasat Phimai
- ② プラサート・パノムルン
Prasat Phnom Rung
- ③ プラサート・ムアンタム
Prasat Mueang Tam
- ④ プラサート・タムアン 遺跡群
Prasat Ta Mueang Group
- ⑤ プラサート・スィーコロラム
Prasat Si Khoraphum
- ⑥ プラサート・サーカムベンヤイ
Prasat Sa Kamphaeng Yai
- ⑦ プラサート・プラウィハン
Prasat Phra Wihan
- ▲ 石造神殿
Stone Sanctuary
- アロガヤサラー
Arogaysala
- ▲ タマンサラー
Dharmasala
- 採石場
Stone Quarry

石造神殿の見どころ

神殿の最も重要な部分は通常スタッコ(飾り漆喰)または石の彫刻デザインで装飾された主塔です。最も尊重すべき彫像が収められた主塔の中の部屋の装飾図案のベティメントやまぐさ(*)を見ることによってその神殿の宗派を知ることができます。例えばバノムルンでは一番内側のまぐさはシヴァとの関連を示しヒンドゥー教のシヴァ神の寺院と推測できます。ピマーイの殿堂にはシヴァのナタラジャの彫刻が施されたベディメントがあり、中央の部屋の中の4つのまぐさにはマハヤナ仏教(大乘仏教)様式の仏像が見られ、このことから仏教神殿ということがわかります。またピマーイは一方でシヴァを讃える碑文があり、もう一方では仏を讃えるものがあつたりと、宗教の混和はクメール石造神殿にはよく見られます。(*)=窓や出入り口などの上に渡した水平材

ピマーイ遺跡の配置図



石造神殿見学のヒント

見学のスタートは正門から。どの分派に属するかを知る主要な彫刻がある最重要ポイントです。また、ほとんどの神殿は東向き。例外はピマーイとタムアムで、カンボジアのアンコールから続く道に向かって南向き。カオブラビハーンは立地する山のため北向き。

柱廊の戸口「ゴブラ」をくぐり抜けると主塔への道へ続きます。ほとんどのレリーフは外に多いので塔の周りを時計回りに歩き、外から眺めてみましょう。双眼鏡があれば上部の装飾もはっきり見ることができます。神殿では、装飾のいかなる部分にも触れたり、印を付けたり、傷つけたりのように十分注意してください。また、象の上に登ったり座ったりするのも厳禁です。



A.D.600

◆ プレイ・クメン様式 Prei Khmeng Style

ブラサート・フボムン
Prasat Phumpon (スリン県)

700

◆ バケン様式 Bakheng Style

バノムワン
Phanom Wan (ナコンラチャシマ県/コラート)

800

◆ コーケー様式 Koh Ker Style

ブラサート・ノンクー
Prasat Non Ku (ナコンラチャシマ県/コラート)
ブラサート・ムアンケー
Prasat Mueang Khaek (ナコンラチャシマ県/コラート)
ブラサート・ソンシンチャイ
Prasat Son Sin Chai (スリン県)

900

◆ クレーン様式 Khleang Style

ブラサート・ムアンタム
Prasat Mueang Tam (プリラム県)
ブラサート・バノムルン
Prasat Phanom Rung (プリラム県)
ブラサート・サーカムベンヤイ
Prasat Sa Kamphaeng Yai (シーサケット県)

◆ バンテアイ・スレイ様式 Banteay Srei Style

ブラサート・バンマイ
Prasat Ban Mai (プリラム県)
タイチャレン
Thai Charoen (プリラム県)

◆ バプオーン様式 Baphuon Style

ブラサート・ピマーイ
Prasat Pimai (ナコンラチャシマ県/コラート)
ブラサート・バノムワン
Prasat Phanom Wan (ナコンラチャシマ県/コラート)
ブラサート・バンフルオン
Prasat Ban Phluong (スリン県)
ブラサート・タムアムトム
Prasat Ta Muean Thom (スリン県)
ブラサート・プラーウィハン
Prasat Phra Wihan (シーサケット県)

1,000

◆ アンコールワット様式 Angkor Wat Style

ブラサート・バノムルン
Prasat Phanom Rung (プリラム県)
ブラサート・スィーコプラム
Prasat Si Khoraphun (スリン県)
ブラサート・ヤインガオ
Prasat Yai Ngao (スリン県)

1,100

◆ バイオン様式 Bayon Style

クティールスィー・ピマーイ
Kuti Ruesi Pimai (ナコンラチャシマ県/コラート)
クティールスィー・コックムアン
Kuti Ruesi Khok Mueang (プリラム県)
ブラサート・タムアム
Prasat Ta Muean (スリン県)
ブラサート・タムアムトト
Prasat Ta Muean Tot (スリン県)
ブラサート・コックンゲオ
Prasat Khok Ngoe (スリン県)
ブラサート・サーカムベン
Prasat Sa Kamphaeng (シーサケット県)

1,200

INFORMATION

旅の基礎知識



気候

タイの季節は乾期(11月~3月)、暑期(4月~5月)、雨期(6月~10月)の3シーズンに分けられます。乾期は降雨も少なく、空は青く晴れ渡り気温も心地よく観光に適したシーズンだと言えるでしょう。雨期はモンスーンの影響を受けやすく天候が不安定になります。いずれのシーズンも最高気温が30度を越す熱帯に属しますので、通気性の高い衣類や、帽子、サングラスなどの用意も忘れずに。また東北地方は高地が多く、冷え込むこともありますので、薄手の上着などを持参すると良いでしょう。



服装

一年を通して日差しが強く、高温多湿の気候なので、通気性の良い服装をおすすめします。ただしレストランなどでは、エアコンが効きすぎているところがありますので注意してください。また敬虔な仏教国であるタイでは、寺院は神聖なる信仰の場所です。参拝するときは、節度ある服装を心がけてください。



飲み水

水道水など生水は避け、飲料水を購入してください。



喫煙マナー

レストランを含む冷房のきいた建物内ではスモッキングエリアを除き禁煙となっています。違反は2,000バーツの罰金。またバンコクでは路上へのタバコの吸い殻やゴミのポイ捨て、ツバを吐くことも処罰の対象になります。最高2,000バーツの罰金。



電気

電圧は変圧 220V、55Hz でプラグは BF、C タイプ。ドライヤーやシェーバーなど日本の電化製品を使用の場合はプラグ・アダプター・キットを携帯されることをおすすめします。



両替・銀行

タイ・バーツ (Baht) は変動相場性をとっていますので、両替レートが毎日変化します。(2017年4月現在約3.2円)



VAT 免税手続き (VAT)

タイへの旅行者は、タイ国内において、同日同一店で購入した合計 2,000 バーツ以上の買物について 7% の税金 (Value-Added Tax) 分を帰国時に空港で払い戻してもらうことができます。払い戻しを受けるためには「VAT REFUND FOR TOURIST」の表示のあるお店で購入し、購入時に必要事項を書類に記入します。空港の VAT 窓口でチェックイン前にその書類で申請を行ってください。詳しい手続きについてはタイ国政府観光庁日本語ホームページをご覧ください。

<https://www.thailandtravel.or.jp/about/leave/>



パスポート&ビザについて

タイ入国後 30 日 (29 泊 30 日) 以内の観光目的の滞在の場合、日付の入った FIX の往復航空券、1 万バーツ相当の現金を保持していればビザ無しで入国できますが、国際規定よりパスポートの残存期間は 6 ヶ月以上と定められています。ただし、陸路での入国は 1 回 30 日、年に 2 回までとなっております。30 日以上滞在を予定されている方、あるいは観光目的以外で入国される方は事前にタイ王国大使館・領事館においてビザを取得してください。また航空会社によりパスポート残存期間の規定が異なるため、ご利用になる航空会社にお問い合わせください。

● 在日タイ王国大使館 VISA 課

TEL : 03-5789-2449 www.thaiembassy.jp



いざという時に

病院

食習慣や気候の違い、また旅先での緊張や疲れなどで体調が崩れた時は、迷わず病院に行きましょう。

ナコーンラーチャシーマー県 (コラート)

● バンコク・ラーチャシーマー病院

Bangkok Nakhon Ratchasima Hospital

Mittraprag, Nai Muang

TEL : (044) 429-999 www.bkh.co.th

ウボンラーチャターニー県

● サパシット病院

Sappasit Hospital

< タイ語・英語・ラオス語 >

122 Sappasit Rd., Amphoe Muang

TEL : (045) 244-973

ウドンターニー県

● エークウドン・インターナショナル病院

Aekudon International Hospital

< タイ語・英語 >

555/5 Posri Rd., Amphoe Muang

TEL : (042) 342-555 www.aekudon.com

コーンケン県

● コーンケンラム病院

Khon Kaen Ram Hospital

< タイ語・英語 >

193 Village #1, Srijan Rd., Amphoe Muang

TEL : (043) 239-000

www.ramhospital.com/jaoutus.htm

ナコーンパノム県

● ナコーンパノム病院

Nakhon Phanom Hospital

< タイ語 >

Aphibanbuncha Rd., Amphoe Muang

TEL : (042) 511-422 www.nkphospital.go.th



いざという時に

ツーリスト・ポリス

外国人観光旅行者の安全を図るために、ツーリスト・ポリスが特別に設けられており、「Tourist Police」という肩章を付けています。観光地にはツーリスト・ポリスの警察署や派出所が設けられてあり、英語を話すことができますので、トラブルが発生した場合は連絡しましょう。ツーリスト・ポリスセンター 局番なし：1155
ドンムアン空港内 TEL：02-535-1155
www.tourist.police.go.th

その他

●在タイ日本国大使館領事部
177 Witthayu Road, Lumpini, Pathum Wan, Bangkok
10330
TEL: 02-207-5500/02-693-3000 (代表)
邦人援護 TEL：02-207-8502
日本大使館 <http://www.th.emb-japan.go.jp>

●イミグレーション（入国管理局）※ビザ延長など
Government Centre Chaeng Wattana Building
B, Nr 120, Moo 3, Chaeng Wattana Rd., Soi 7,
Tung Song Hong Sundistrict, Laksi, Bangkok
TEL：02-287-3101～10

●その他
警察 局番なし：191
火事 局番なし：199
救急車 各大型病院へ連絡

●電話のかけ方
タイ国内で電話をかける場合：
市内、市外を問わず0から始まる9ケタの数字を
日本からタイへ電話をかける場合：
（タイの国番号）66+（0を除いた）8ケタの数字を
ダイヤルしてください。

ラオスへの入国について

チョンメック（P10）、タイ・ラオス友好橋（P14）、
ムクダハーン（P20）

●日本人は、観光目的で15日未満の滞在の場合ビザは不要。15日以上1ヶ月以内の滞在の場合は、バンコクのラオス大使館にてビザを申請するか、ラオス国境にあるイミグレーションにてアライバルビザを取得すること。ビザ申請には30米ドル（休日及び時間外は31米ドル）、写真1枚（3.5×4.5cm）、パスポートが必要。場合によっては写真を2枚要求されることもあるので、念のため2枚準備することが望ましい。

●イミグレーションオフィス開館：8:00～17:30
●バンコクのラオス大使館
TEL: 02-539-6667 <http://www.bkklaembassy.com>



カオヤイ国立公園

タイ国政府観光庁

バンコク (ヘッドオフィス)

1600 New Phetburi Rd., Makkasan. Rachathewi, Bangkok 10400
TEL: (02)250-5500 FAX: (02)250-5511
TATコールセンター: 局番なし1672

バンコク (インフォメーション)

4 Rachadamnoen Nok Avenue, Bangkok 10100
TEL: (02)283-1500

ナコンラーチャシーマー・オフィス (ナコンラーチャシーマー、チャイヤブーム)

2102-2104 Mittraphap Rd., Tambon Nai muang,
Amphome Muang, Nakhon Ratchasima 30000
TEL: (044)213-030 FAX: (044)213-666
E-mail: tatsima@tat.or.th

スリン・オフィス (スリン、ブリーラム)

355/3-6, Thessaban Rd.1,
Muang Surin District, Surin 32000
TEL: (044)514-447 FAX: (044)518-530
E-mail: tatsurin@tat.or.th

ウボンラーチャターニー・オフィス (ウボンラーチャターニー、アムナットチャルン、ヤソートン、シーサケート)

264/1 Khaun Thani Rd., Amphome Muang, Ubon Ratchani 34000
TEL: (045)243-770 FAX: (045)250-714
E-mail: tatubon@tat.or.th

ウドンターニー・オフィス (ウドンターニー、ノンカーイ、ブンカーン)

16/5 Mukmontri Rd., Amphoe Muang, Udon Thani 41000
TEL: (042)325-406 FAX: (042)325-408
E-mail: tatudon@tat.or.th

ルーイ・オフィス (ルーイ、ノンブアランブー)

Old District Office, Charoenrat Rd. Amphome Muang, Loei 42000
TEL: (042)812-812, 811-405 FAX: (042)811-480
E-mail: tatloeie@tat.or.th

コーンケン・オフィス (コーンケン、ローイエット、マハーサーラカム、カラシン)

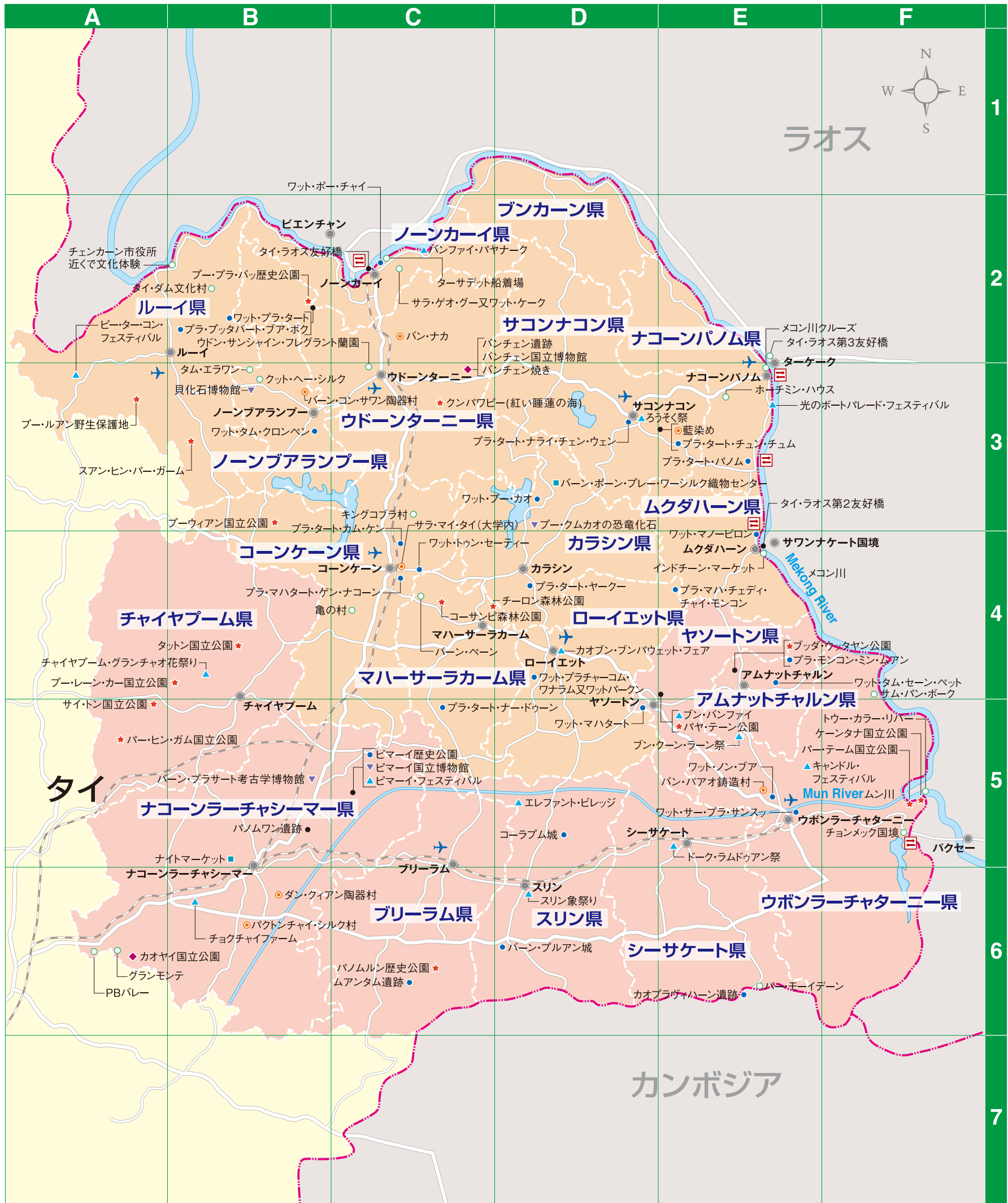
277/20-21 Klang Muang Rd., Amphome Muang,
Khon Kaen 40000
TEL: (043)227-714 FAX: (043)227-717
E-mail: tatkhkn@tat.or.th

ナコンパノム・オフィス (ナコンパノム、サコンナコン、ムクダハーン)

184/1 Soontornvijit Rd., Tambon Noi Muang, Amphome Muang,
Nakhon Phanom 48000
TEL: (042)513-490 FAX: (042)513-492
E-mail: tatphnom@tat.or.th

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル南館2F TEL 03(3218)0355,0337 FAX 03(3218)0655 info@tattky.com

〒550-0013 大阪市西区新町1-4-26 ニッケ四ツ橋ビル TEL 06(6543)6654,6655 FAX 06(6543)6660 info@tatosa.com



本誌掲載内容は予告することなく変更する場合があります。予めご了承ください。

- ✈ 空港
- 県庁所在地
- 主な道路
- 鉄道
- 🏠 イミグレーション
- 🏛 遺跡・寺院
- ★ 自然・国立公園
- 🏡 伝統工芸
- 🌿 その他の見所
- 🎊 祭り・イベント
- 🍷 お土産
- 🍽 食事
- 🏛 博物館
- 🌟 世界遺産

